

その45 川越

(平成16年11月1日号—第233号)

川越は、天野川を挟んだ村野、茄子作、山之上、田宮の4カ村が明治22年に合併してできた村で、今は小学校などにその名を残すのみです。当時は、田畑が広がるのどかな農村地帯でしたが、昭和31年に始まった香里団地の建設以来、あたりは一変しました。

平安時代、在原業平が天上の「天の川」になぞらえて和歌に詠んだ天野川。現代でも、カワセミなどの野鳥だけでなく、私たちにとっても貴重なオアシスとなっています。



77 南部生涯学習市民センター

ところで、以前、川越小学校は藤田山と呼ばれる小高い丘の上にあり、校庭に植えられた大きなユーカリの木は同校のシンボルとなっていました。平成15年、そこから700メートル離れたところに生涯学習の拠点として開館した南部市民センター^{*1}の一角には、ユーカリの木が植えられ、当時の面影を今に伝えています。

^{*1} 平成18年10月から南部生涯学習市民センター。